



いいで町

151号

議会だより



太鼓で景気づけ `椿劇場、

9月議会(7回定例会)

平成24年度各会計決算	P2~4
一般質問	P5
人事・挨拶・臨時会	P6~7
決算特別委員会	P8~11
各会計補正予算	P12
条例・人事・請願ほか	P13
各常任委員会	P14~15
議員交流会・編集後記	P16

各会計決算

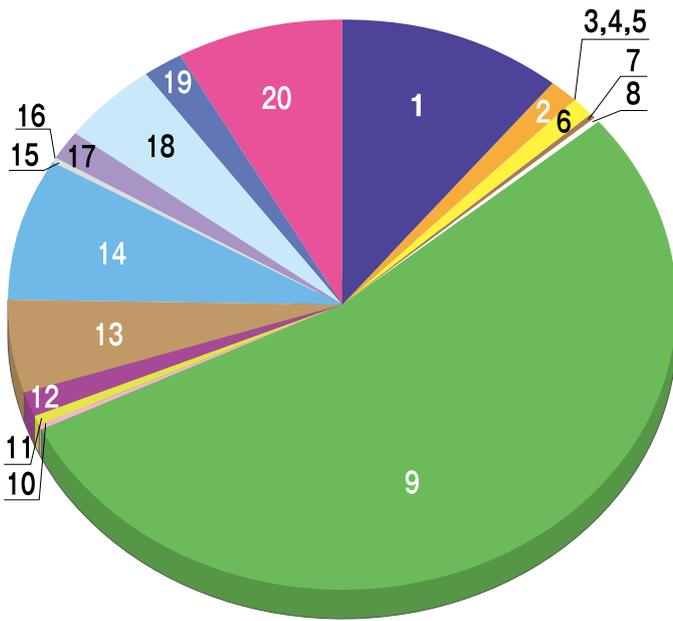
第7回 定例会

平成25年第7回議会定例会が、9月10日から20日までの11日間の会期で開催され、各会計補正予算7件、一般会計、国民健康保険ほか13件の特別会計及び事業会計合わせ15件の平成24年度決算、意見書4件及び人事3件等を審査し、いずれも原案のとおり可決しました。

平成24年度一般会計決算では、歳入総額は60億4246万円であり、そのうち町税は、全体の11.1%にあたる6億6771万円となっています。

歳入内訳

(単位：万円)



1. 町税	6億6771	
2. 地方譲与税	7870	
3. 利子割交付金	137	
4. 配当割交付金	70	
5. 株式等譲渡所得割交付金	19	
6. 地方消費税交付金	6661	
7. 自動車取得税交付金	2421	
8. 地方特例交付金	240	
9. 地方交付税	32億5712	
10. 交通安全対策特別交付金	175	
11. 分担金及び負担金	4532	
12. 使用料及び手数料	8443	
13. 国庫支出金	3億1318	
14. 県支出金	4億9513	
15. 財産収入	1063	
16. 寄付金	91	
17. 繰入金	1億1303	
18. 繰越金	2億7958	
19. 諸収入	1億1053	
20. 町債（町の借金）	4億8890	
歳入総額	60億4246	

町債（町の借金）の内訳

名称	金額
臨時財政対策債	2億1430万円
過疎対策事業債	1億9320万円
辺地対策事業債	7480万円
災害復旧事業債	660万円

実質収支 3億1625万円（うち基金積立額 1億5100万円）

平成24年度

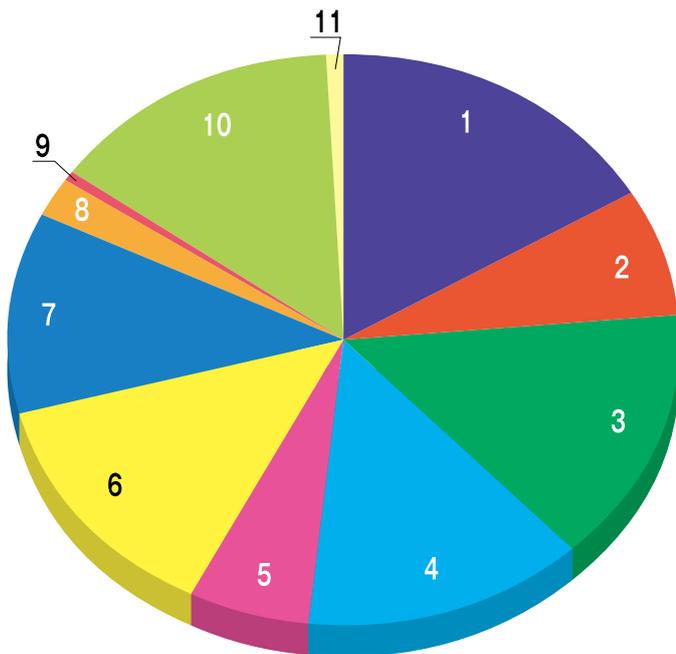
一般財源は前年度比で1.4%減少し、人件費は4.8%の減、扶助費は4.8%の増、公債費は7.9%の減となっています。その他の経費は、物件費・維持補修費・補助費等であるが、前年度比3.8%の増となっています。



電気自動車用急速充電装置及び太陽光発電装置
(めざみの里観光物産館)

歳出内訳

(単位：万円)



1. 人件費	9億4473	
2. 扶助費	4億799	
3. 公債費(借金返済)	8億2512	
4. 物件費	7億7181	
5. 維持補修費	3億3258	
6. 補助費等	7億7614	
7. 繰出金	6億4743	
8. 積立金	1億2972	
9. 投資・出資・貸付金	1881	
10. 普通建設事業	8億2140	
11. 災害復旧費	3375	
歳出総額	57億949	

歳入歳出差引額 3億3298万円 翌年度へ繰越財源 3135万円

平成24年度 各特別会計決算

(単位：万円)

会 計 別		歳入決算額	歳出決算額	差引残額
国民健康保険	事業勘定	8億5345	7億7992	7353
	直診勘定	1億1785	1億1307	478
後期高齢者医療		7894	7826	68
介護保険		10億3760	10億2925	835
訪問看護		1669	1592	77
介護老人保健施設		2億8903	2億8703	200
物品調達		1795	1795	0
農業集落排水事業		5億6019	5億5561	458
生活排水個別処理事業		3465	3403	62
萩生財産区		17	10	7
豊原財産区		26	12	14
添川財産区		292	241	51
豊川財産区		65	5	60
中津川財産区		917	910	7
水道事業	損益勘定	2億1001	1億7347	3654
	資本勘定	4311	1億9311	△1億5000



よりきれいで安全な飲料水供給用の活性炭注入装置（小白川浄水場）

一般質問

当面の改善点と強化策は



鈴木敏夫議員

- 環太平洋連携協定による影響は
- 第三セクターへの取組みについて
- 「幸せリーグ」の調査・研究は
- 全国学力テストの状況について

質問 環太平洋連携協定（ＴＰＰ）が町に及ぼす影響は。

ＴＰＰの交渉状況を見直し、今後の対策について検討します。

交渉状況を注視

町長 農林水産省の関税が撤廃されれば、コメを中心に大きな打撃を受けるのは明らか。

海外の安い農産物に對抗していくために、新鮮で安全安心、高品質な農産物を提供する態勢づくりが必要です。

外部からも指導できる環境を整備

質問 第三セクターに対する自治体の責任と法的諸問題への取組みは。

町長 第三セクターとして(有)いいでクリーン堆肥が赤字から脱却で

きず平成24年12月、生産終了登記されました。

設立当初、助役が代表取締役の職に就いてきました。

補助金を支出する際の公益性は確保されていると考えています。

再評価システムについては、公益目的や機能の実現を考え進めました。また、外部からも指導できる環境を整備することが大切だと思います。

質問 「通称幸せリーグ」の調査・研究は。

取組みを注視

町長 ヒマラヤ山麓の国「ブータン」を手本に物質的な豊かさや経済的効率性だけを追い求めるのではなく、幸福実感に基づいた行政運営に取り組む自治体

が広がりをみせています。の状況は。

本町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しており、心と自然の豊かさを次世代に継承できるものと思っています。

質問 全国学力テスト

学習指導の改善を検討
教育委員長 本町の状況は満足できる結果でなく、調査結果に基づいて、指導改善、充実に取り組んでいきます。



第5・6回
臨時会
6月27日
8月6日

6月27日に開かれた第5回臨時会では、職員の給与減額に関する条例の改正と、それに伴う各会計の補正予算を審議し、いずれも賛成多数で可決しました。

また、8月6日に第6回臨時会が開催され、新たに議長、副議長の選出を行ったほか、各委員会などの構成も変わりました。

一般職及び特別職の給与を削減

新たに設定した条例

◆飯豊町一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例

国の厳しい財政状況、東日本大震災からの復興支援及び防災・減災事業の推進のため、国と地方が一丸となって努力する必要がある中で、国に準じ職員の給与を改定するものです。期間は、25年7月から26年3月までの9ヶ月間とし、内容は給料を4・77%から7・77%、管理職手当を10%減額するものです。採決の結果、賛成7人、反対1人で賛成多数により可決しました。

一部を変更する条例

◆飯豊町特別職の職員の給与に関する条例

◆飯豊町教育長の勤務条件に関する条例

いずれも一般職の給料の減額と同じ理由により、町長、副町長及び教育長の給料を9ヶ月間10%減額するものです。採決の結果、賛成7人、反対1人で賛成多数により原案のとおり可決しました。

条例改正に伴う人件費の減は

各会計補正予算

3501万円

◆一般会計

緊急雇用創出事業に300万円や、税還付金に250万円などを追加、人件費3034万円などを減額し、総額を57億8531万円とするものです。

◆国民健康保険特別会計

事業勘定は、人件費41万円を減額し、総額8億7653万円となりました。

◆飯豊町後期高齢者医療特別会計

人件費12万円を減額し、総額7876万円とするものです。

◆飯豊町介護保険特別会計

人件費72万円を減額し、総額10億3318万円とするものです。

◆飯豊町訪問看護特別会計

総額から14万円減額し、総額1751万円とするものです。

◆飯豊町介護老人保健施設特別会計

人件費142万円を減額し、総額2億9896万円となります。

◆飯豊町農業集落排水特別会計

98万円を減額し、総額6億2961万円とするものです。

◆飯豊町水道事業会計

営業費用から57万円を減額し、総額1億9039万円とするものです。

一般会計、特別会計合わせて人件費の削減は、3501万円となりました。

採決の結果、すべて賛成7人、反対1人で賛成多数により可決しました。



大震災の爪痕

議長 中村仁一
副議長 嶋貫栄助
を選出



中村仁一議長



嶋貫栄助副議長

議長就任の挨拶

臨時議会において、議員各位のご推挙により議長の要職に就任することになりました。誠に光栄に存するところであり、責任の重大さを改めて認識しています。

議員各位のご理解とご指導、町民の方々のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議会の改革、活性化に尚一層力を注ぎ、町民に分かりやすく開かれた議会になるよう努力してまいります。

また、町民から寄せられた信頼と期待に応えるべく、議会刷新特別委員会の設置をはじめ、地方自治の伸展と住民福祉のため議員一丸となって努めてまいります。

町民老若男女全てが安心して暮らせるまちづくり、議会として鋭意努力し、諸施策を推進していきます。

今後共、町民各位のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、就任の挨拶といたします。

* 新 議 会 構 成 *

委員会名	委員長	副委員長	委 員			
総務文教常任委員会	船山清一	後藤恵一郎	嶋貫栄助	菅野富士雄	中村仁一	鈴木敏夫
産業厚生常任委員会	鈴木敏夫	山口文隆	長沼桂子	嶋貫栄助	後藤恵一郎	長沼安義
広報常任委員会	長沼安義	菅野富士雄	長沼桂子	山口文隆	中村仁一	船山清一
議会運営委員会	後藤恵一郎	長沼桂子	嶋貫栄助	菅野富士雄		
議会刷新特別委員会	長沼桂子	後藤恵一郎	嶋貫栄助	菅野富士雄	山口文隆	鈴木敏夫
			船山清一	長沼安義		

飯豊町監査委員 山口文隆

置賜広域行政組合議会議員	西置賜行政組合議会議員	置賜広域病院組合議会議員
中村仁一	後藤恵一郎	中村仁一
長沼桂子	船山清一	嶋貫栄助
長沼安義	鈴木敏夫	菅野富士雄



◆飯豊町委員会条例の一部改正
議会運営委員会委員を5人から4人に減員したものです。

◆公用車物損事故に係る賠償額
萩生地内で発生した車輛物損事故の賠償を行うものです。

◆一般会計補正予算
豪雨に伴う災害復旧費3809万円の補正などで、5910万円を追加し、総額で58億4441万円としました。

◆水道事業会計補正予算
豪雨により水道管が破断されたことから、600万円追加し、資本的支出額を9423万円とするものです。

いずれも全会一致で可決しました。

委員会



菅野 富士雄
決算特別委員長

平成24年度一般会計、特別会計13件及び水道事業会計合わせ15件の決算は、特別委員会を設置し9月17・18日の2日間で審査しました。委員長に菅野富士雄、副委員長に嶋貫栄助の両議員を選出し、いずれも原案のとおり認定すべきものとなりました。

一般会計

総務文教所管分

乳幼児施設、負担の平準化を

長沼(桂)委員

①幼稚園、保育園等で保護者の負担に差が生じている。通園の経費も含め、同額ぐらいにできないか。
②決算書を見ると、予

算と歳入出の差が大き
く、予算編成原理を逸
脱していないか。

③交通安全対策での
横断歩道の設置は。

町長 両園等の負担格
差是正は、園の再編成
の必要性も視野に、今
年度中に方向を示しま
す。

総合政策室長

精査ができず指摘事
項となりました。今後
はさらに精査をし、予
算編成をします。

住民税務課長

数箇所要望がありま
す。24年度は、交差点
への安全配慮から、赤
い塗装で注意喚起され
ました。

歩道は安全協会と共
に要望しています。

交通弱者への
支援について

嶋貫委員

①デマンド交通の利用
者が減少しているがな
ぜか。



通学路に横断歩道を

②ファミリーサポート
センターの利用状況は。

住民税務課長

置賜病院線での利用
が激減しています。特
に帰宅時に多く、原因
を調査して改善に努め
ます。

教育文化課長

会員登録は58人です。
子育て支援策であり、
年間延べ337件の利
用がありました。

ふるさと納税の
内訳は

鈴木委員

町を応援する「ふる
さと納税」の制度を
もつと内外にPRすべ
きではないか。

住民税務課長 14人か

ら、38万円の寄附をい
ただきました。

今年度からは、町の
ホームページ「ふるさ
とチョイス」で納税の
特典を紹介し、拡大に
努めております。

決算特別

手ノ子スキー場
どう活用

船山委員

全国的にスキー場利用者減少。

今後の利用拡大に向けての運営の改善策は、教育文化課長

ゲレンデの排水・土砂流失対策を実施しました。24年度は若干経費が上乘せになりました。

教育的施設としての意味も大きく、全国大会等へ出場する児童・生徒も育っております。指定管理者である運営組合と協議し、夏季活用も含め、対策を講じていきます。

働きやすい職場にするには

長沼(安)委員

①職員の健康管理にどう努めているか。

②入湯税の算定変わったのか。

行政管理室長

がん検診や、産業医の医師から、メンタル面での指導を受け、対処しています。事後指導も含め、医療機関での再診や、精密検査の実施等を助言しております。

住民税務課長 24年度は震災関連で、減免措置規定があり、例年と違った額となりました。

防犯灯のLED化は

後藤委員

①地上デジタル放送、行政事務情報化推進事業(OS化)の今後の経費について。

②防犯灯のLED化を早期に進めるには。

総合政策室長

極難視聴地域は、デジタルサポートセンターの指導で衛星回線

から受信しております。

アウトソーシング化については、次年度以降総合行政・財務会計システムの賃貸料等が節減できます。

住民税務課長

町管理16基を改修し、すべてをLED化しました。

化石燃料が高騰 木質エネルギーの利用を

長沼(桂)委員

庁舎にペレット・ボイラーが導入されたが、経費はどれくらい削減されたか。

行政管理室長

契約電力の基本料縮減と節電分で約33万円減少しました。

今後はCO₂削減に努めると共に「あくす」等、大規模な施設での設置を見据えています。

特別会計

国保の基金が底をつくのでは

住民税務課長

相当高額の取崩しとなりました。

長沼(桂)委員

今、全国的に国民健康保険制度が危い。年に5千万円ほど基金から繰入れ、1億2千万円の基金残高だが、将来どうなる。

しかし、全国の被保険者の加入伸び率との関係であり、国も制度の再検討に入っている。時期や、運営が都道府県単位になるのを見据えて対応していきます。



LEDで長寿命化

委員会

一般会計

産業厚生所管分

(有)いいでクリーン
堆肥への負担金の
効果・公益性は

長沼(桂)委員

すでに清算終了し
た(有)いいでクリーン
堆肥に対し補助金約
908万円支出されて
いるが、その効果及び
公益性はどうか。

農林振興課長 (有)いい
でクリーン堆肥は、当
時地元で誘致した林業
会社からでる二次産物、
樹皮を利用して田畑の
土壌改良を図るとい
う目的で7社、7団体の
出資により設立された
ものです。(44.7%
210万円)

その林業会社が倒産
し11年間休業状況の中、
再開のめども立たず早
く清算し、関係団体へ
の責任を果たすとい
う意味での効果・公益
性であります。

鈴木委員

(有)いいでクリーン堆
肥への町の監査は。

梅津代表監査委員

監査の重要性は十分
に認識していますが、
監査のタイミン
グを見て実施する方向で考
えています。

岳谷大日杉線の
災害復旧箇所は

松山委員

岳谷大日杉線の災害
復旧工事に2300万
円支出されているがど
こか。

地域整備課長

昨年は県道終点から
100mの地点が路肩
欠損をして復旧工事を
行いました。

なお、今年7月17日

の豪雨により昨年工事
した脇の箇所が同じよ
うに欠損しましたが、
補助災害に該当しない
ことから単独事業とし
て復旧を行う予定です。

少ないようであるが、
周知不足が原因ではな
いか。対象者は何人か。

健康福祉課長

24年度は、87件と前
年度353件に対し大
きく差があり、今後積
極的に各種の集まりや
介護保険等の周知など
にあわせ、ワクチン接
種の案内等啓蒙にも努
めていきます。

23年度は積極的にP
Rして接種を呼びかけ
ました。

介護政策の方向性は

長沼(安)委員

在宅介護支援事業費
が23年度と比較して倍
近く支出されているが、
その理由及び介護保険
料との関係から居宅介
護支援事業を強化して
いくのか。

健康福祉課長

介護保険を利用しな
いで元気に暮らしても
らう施策として、訪問
サービスあるいはデイ
サービスなどによりな
るべく、施設入所しな
いような対応を24年度
多く展開したところで
す。

介護にかかわる政策
の方向性ですが、施設
入所を希望する方もい
らっしゃるわけですの
で、施設入所から在宅
介護に方向性を変える
のではなく、施設入所
の必要性を認識しなが
らも、今まで以上に力
を入れていく考えです。



決算特別

かやぶき民家の
活用は

後藤委員

かやぶき民家の利用
状況及び将来の活用の
展望は。

町長 委員の意見のと
おり、毎年100万円
を超える管理費がかか
ることからも「かやぶ
き民家」を移築して活
用することも考えられ
ます。

商工観光課長

農都交流という都市
と農村の交流を通し、

飯豊町の里山や昔の暮

らしが新たな価値観と

して、都会の人も地域

の人も感じられる時代

になっていると考え

「かやぶき民家」を活

用し、事業を展開して

きました。

残念ながら、利用は

減少傾向の状況にあ
ります。

特別会計

未収金及び介護保
険料の増加は

長沼(桂)委員

未収金合計額331

万円のうち介護保険料

で昨年比112万円増

加しているが、時効成

立するもの、未収金の

年度ごとの金額及び介
護保険料の増加は。

健康福祉課長

未収金の時効は2年
です。

また、年度毎の未収

金額は、22年度分24万

円(48件)、23年度1

13万円(237件)、

24年度分194万円

(281人)です。

保険料増加の原因は、

第5期保険料の改定に
よるものです。

水道料の改定は

後藤委員

23年度発生 of 異臭問

題等に対応するため、

活性炭注入装置等の投

資により給水原価が増

加したようだが、今後

水道料改定の必要はな
いか。

地域整備課長

活性炭注入装置に係
る投資額は約1500

万円で、その維持費で

増加しました。

今後の水道料金等に

ついてですが、当町の

水道施設の経年劣化、

耐震化等による更新を、

年次計画のもとに行い

水道料金を上げること
のないよう事業を進め
ていきます。



また、新しい水源地
の調査等を行い、安定
的に給水事業を行って
いきます。

どうする「かやぶき民家」

平成25年度 各会計補正予算

平成25年度一般会計は、歳入歳出それぞれ8271万円が追加され、59億2713万円となりました。

平成25年度 飯豊町一般会計補正予算（第6号）

歳入

(単位：万円)

款	補正前の額	補正額	計
地方特別交付税	180	4	184
地方交付税	28億8679	6372	29億5051
分担金及び負担金	4232	129	4361
使用料及び手数料	7880	9	7889
国庫支出金	4億6789	△3719	4億3070
県支出金	3億7212	6309	4億3521
繰入金	4億7050	285	4億7335
繰越金	1億111	4951	1億5062
諸収入	8065	1	8066
町債	5億7400	△6070	5億1330
補正されなかった款の額	7億6844		7億6844
歳入合計	58億4442	8271	59億2713

歳出

(単位：万円)

款	補正前の額	補正額	計
議会費	8088	△247	7841
総務費	7億1518	254	7億1772
民生費	11億9103	2027	12億1130
衛生費	3億4134	△136	3億3998
農林水産費	7億2500	3506	7億6006
商工費	2億6672	810	2億7482
土木費	6億1365	△1500	5億9865
消防費	2億7413	△3492	2億3921
教育費	6億4358	3424	6億7782
災害復旧費	6077	3625	9702
補正されなかった款の額	9億3214		9億3214
歳出合計	58億4442	8271	59億2713

各特別会計補正予算

(単位：万円)

会計別	補正前の額	補正額	計	
国民健康保険	事業勘定	1701	8億8454	
	直診勘定	△320	1億3801	
介護保険	10億3318	995	10億4313	
介護老人保健施設	2億9896	67	2億9963	
添川財産区	709	125	834	
豊川財産区	18	60	78	
水道事業	損益	収入	2億1078	2億1277
		支出	2億117	2億1157
	資本	収入	4811	5311
		支出	9424	1億124

人事

次の人事案件に同意
しました。

◎ 人権擁護委員

手ノ子 一七三三二三

熊野 昌昭

◎ 教育委員会委員

椿三五九五一

山口千鶴子

◎ 萩生財産区管理会委員

萩生三五三九二

木村 吉博

萩生一五〇〇一六

嘉藤 直昭

一部を改正する条例

◆ 空き家などの適正管理に関する条例

管理不全な空き家の
応急措置を迅速に行う
必要があるため、一部
改正をするものです。

取り下げられた条例

◆ 飯豊町子ども、子育て会議条例

9月10日提案された
「飯豊町子ども、子育
て会議条例」は、本町
に合った条文にすべき
という議会側の指摘に
より取り下げられまし
た。

請願

◆ 新聞への消費税軽減
税率適用を目指し、
政府への意見書提出
を求める請願

請願者

山形新聞椿販売所

長沼 秀明

山形新聞萩生販売所

後藤 裕一

◆ TPP交渉に関する
請願

請願者

J A 山形おきたま

経営管理委員会会長

木村 敏和

J A 山形おきたま

農政対策本部長

木村 敏和

審査の結果

両請願とも全会一致
で採択されました。

意見書

◆ 森林吸収源対策及び
地球温暖化対策に関
する地方の財源確保
のための意見書

◆ 道州制導入に断固反
対する意見書

◆ 新聞の軽減税率に関
する意見書

◆ TPPに関する意見
書

4件の意見書を国の
関係機関に提出しまし
た。

公有財産の取得

消防小型ポンプ積載車
取得価格 966万円
購入先
(株)長谷川ポンプ製作所



添川地区へ配備する積載車



どうする…



空き家対策

総務文教常任委員会

各課からの報告

飯豊山岳会員のガイド2名と総勢6人で日帰り調査を実施。

総務企画課

◆2件の建物火災発生。

会計管理者

◆9月予定の地方交付税金入金。

住民税務課

◆平成23年7月以降町内で発生していなかった交通事故発生。
6月2日黒沢地内の

質問と答弁

問 全国学力テストの結果を保護者にどのように説明したのか。

山形県は国語が上り算数が下がったと聞く。他県では全国トップの秋田県の指導方法を学ぶ県もあるようだが。

答 全国学力調査が4年ぶりに実施されました。教育委員会としては各学校の結果公表は考えず、基本的に学校長にまかせます。

問 校長会に教育委員会から補助的な助言は

あるのか。

答 町全体の課題が見えてきたので、町校長会の改善会議に期待したい。



飯豊山の穴堰調査

答 利用できる家や土地を売りたい買いたいという方を町に登録してもらい、条件が合致した件について町が橋渡しをし、その後は当事者間で話し合ってもらいます。
現在、空き家1件、土地2件が登録されています。
売りたい、買いたいという方10名が登録されています。

問 飯豊分校の跡利用は。

答 今年度は県が管理します。今後の利用は耐震化等を考えると建てる以上に経費がかかるので、解体の方向で考えていきます。

問 空き家対策で町が情報を得て話し合い、その後の対応はどのようなものか。

答 中津川地区を中心に24年度分の繰り越し事業で、2次交通対策

問 過疎地域自立活性化促進交付金活用の進捗状況は。

答 中津川地区を中心に24年度分の繰り越し事業で、2次交通対策

問 過疎地域自立活性化促進交付金活用の進捗状況は。

答 中津川地区を中心に24年度分の繰り越し事業で、2次交通対策

問 過疎地域自立活性化促進交付金活用の進捗状況は。

答 中津川地区を中心に24年度分の繰り越し事業で、2次交通対策

問 現在の執行率は50%で、今年度末で100%になります。

問 空き家対策で町が情報を得て話し合い、その後の対応はどのようなものか。

答 中津川地区を中心に24年度分の繰り越し事業で、2次交通対策

問 過疎地域自立活性化促進交付金活用の進捗状況は。

答 中津川地区を中心に24年度分の繰り越し事業で、2次交通対策

25年産米作況は平年並み

産業厚生常任委員会

各課からの報告

農林振興課

◆作況調査の結果、今年度は平年並みで、比較的順調な生育ですが、これからの天候次第です。

◆町内にヨーグルト工場を設置したい旨の申し出があったことについて、河北町にある別の企業でヨーグルト製造にも参入することになったので、飯豊工場への設置は断念せざるを得ないと会社側から報告がありました。

商工観光課

◆東京飯豊会の総会が飯豊町出身者130名ほど出席され、盛大に行われました。

地域整備課

◆住宅リフォーム支援

事業は、8月末現在で43件の申し込みがありました。

◆水道異臭及び放射線物質の検査を月1回行っています。両方とも不検出でした。

健康福祉課

◆民生児童委員の改選に伴う、推薦会を3回開催し、適任者の選定を行っています。

◆在宅寝たきりの方を対象に、飲み込みの改善や誤嚥性肺炎を予防するため、2週間に1回歯科衛生士の訪問指導を実施しています。

診療所

◆風しんの予防接種について、現在まで抗体検査及び接種とも希望者ありません。

質問と答弁

問 ヨーグルト工場の設置が困難となったことは残念ですが、今後の可能性は。

答 今後も「飯豊町ながめ山」のブランドは作っていくと約束してもらいました。

商品が宮城・福島・東京で出回る新しい動きに期待すると申し伝えました。

問 中小企業振興事業補助金の申込み状況は。

答 第一次募集で7事業所が申請、うち町内は5事業所8事業ありました。

問 豆腐工場の運営と今後の見通しは。

答 現在、週2回稼働し、1回で100丁の豆腐と豆乳を製造しています。販路拡大することが今後の課題と思われれます。

問 雇用創造協議会の活動が見えないので、もっと雇用が見える形にするべきでは。

答 町内で自信をもって提供できる土産物が必要と感じています。

問 雇用創造協議会の活動が見えないので、もっと雇用が見える形にするべきでは。

都市と農村の交流を拡大していく工夫が必要と考えています。

問 介護保険認定審査会の内容と認定者の推移は。

答 1回の審査件数は40件程度で、ほとんどが再審査です。認定者数は540名ほどで、極端には増えていません。



町内産良品質米

議員交流会実施

◆置賜地方町村議会議長会議員交流会

10月3日 置賜5町

(高畠・川西・白鷹・小国・飯豊)の議員交流会が白鷹町パレス松風において開催されました。

山形県住みます芸人三浦友加氏による「まつりが生み出す観光交流」と題しての講演をお聴きしました。同氏は鶴岡市出身で、NSC(吉本総合学院)東京10期生という経歴の持ち主で、祭りへの参加を通して観光交流の在り方や成功する祭りの企画等についてユーモラスにご講演いただきました。

また、新宿の母の弟子として手相占いを特技とし、数名の議員の手相を鑑定し会場の笑いをとっていました。



住みます芸人
三浦友加さん



◆川西・飯豊両町議会

議員交流会

両町議会議員交流会が、10月21日に飯豊町において開催されました。長岡英雄中區協議

会会長の講演会後、スポーツ交流により親睦を深めました。

飯豊町議会 みなさんと語る会 開催

みなさんのご意見をぜひお聞かせください。(時間:午後7時～9時)
(詳細は、別紙チラシを御覧ください。)

編集後記

第151号は、新体制での広報常任委員会の第一回議会報となります。議会の活動を、わかりやすく町民の皆様にお伝えすることを基本に、委員一同心がけていきます。ご意見をお寄せください。

長沼(安)記

発行責任者	議長	中村 仁一
委員長	長沼	安義
副委員長	菅野富士雄	
委員	長沼	桂子
	山口	文隆
	中村	仁一
	船山	清一